

にんにくの生産とその産地化をめざして (株式会社 しらかみファーマーズ)

＜法人の概要＞

所在地：秋田県北秋田市米内沢字長野岱 102番地 25

設 立：平成23年3月24日

資本金：1,000万円 売上高：約6,400万円（平成26年）

役 員：4名（うち農作業従事1名）

従業員数：4名、うち農業従事者4名

経営面積：14ha 営農作物：にんにく

農業開始時期：平成23年4月



良質なにんにくの生産



耕作放棄地を耕作可能地へ

＜農業参入に至った経緯・動機＞

平成23年頃、公共事業は毎年縮減され、春～夏にかけては従業員のワークシェアリングの必要性も生じるなど、建設業については、経営の多角化や雇用の維持のための対策が必要となっていた。

地域に広大な耕作放棄地があることに着目し、建設業者の強みである重機による農地への復元に取り組むことが可能であると考え、金融機関が主催する異業種の勉強会に参画していた建設業者3社で農業法人を設立した。

＜農業参入することを決めてから営農開始まで＞

品目については、北秋田市がにんにくの一大産地である青森県田子町と気候が似ていることや、栽培が比較的容易であることなどから、「にんにく」とすることとした。当初の2.5haの作付けから、将来的には、10ha以上への経営面積の拡大や、「あきたしらかみにんにく」の産地化・ブランド化を目指し、農地の確保を行った。

＜営農開始から現在まで＞

営農初年度は2.5haで作付けを行い、生産物の全量を種として、翌年度14haに栽培面積を拡大した。

地域で産出されるミネラル豊富な十和田石による土壌改良や、減農薬栽培など、おいしさや食の安全・安心に徹底的にこだわったにんにくの生産に取り組むとともに、平成25年度からは、にんにくを発酵・熟成させる「黒にんにく」の加工・販売も開始し、その売上を順調に伸ばすなど、農業の6次産業化にも積極的に取り組んでいる。

＜今後の農業経営の展開方向＞

地域全体で耕作面積30haへの規模拡大を目指し、周辺地域の他の農業者等に対して、講習会の開催や種にんにくの提供などにより生産体制を整えながら、地域としてにんにくの産地化に取り組んでいく。

また、黒にんにくへの加工や販売を拡大するとともに、にんにくを活用した新たな商品開発にも取り組んでいく。

＜今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞

農業参入するにあたっては、地域の農業者等の理解を得る取組が必要である。

また、独自性のある栽培や生産物の加工への取組など、戦略的に取り組んでいくことや、金融機関等のネットワークを活用し、情報の収集や販路の開拓につなげていくことも重要である。



にんにくの植付準備



加工による付加価値化